

平成24年度当初予算について

平成24年4月

．予算編成について***

昨年、3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」により、経済活動は深刻な打撃を受け、さらには欧州債務危機等の影響もあり、依然として以来大変厳しい情勢が続いています。しかし、地方の政治、経済はひと時も足踏みをすることは許されないものであり、市町村が住民生活に密着した行政を担っているということを十分に認識した上で、町民の皆さんに「三朝町に住んでよかった」と思っていただけのような、「心豊かでキラリと光る町」を目指し、新年度予算編成に取り組みました。

今年度は、「第10次三朝町総合計画」の2年目であり、「計画の実現への筋道を明確にする予算」と位置付け、「挑戦」「共生」「自立」の3つの基本理念に沿ってこの理念に4つのキーワード「はたらく」「すむ」「かかわる」「つなげる」を掲げ、これに経済対策、雇用対策、子育て支援、健康福祉対策等についてを積極的に取り組んでいくこととしています。

．予算の規模及び主な事業***

平成24年度当初予算の総額は 4,807,000千円です。

(前年度に比べ 568,000千円 13.4%の増)

主な事業と取組みの概要

1. はたらく・・皆が“誇りをもって活躍できる”町

観光と農林業の連携を推進することで雇用対策の充実を図ります

天与の温泉資源を活かし、医療との連携を深めた「現代の湯治スタイル」を新たな戦略として観光客の誘致活動を国内外で展開するため、三朝温泉おかみキャラバン支援事業 571 千円、外国人観光客誘致対策事業として 379 千円、国内交流都市観光客誘致対策事業に 118 千円、三朝温泉公衆無線 LAN 整備補助 700 千円、観光関連産業の振興を図るために観光振興地域交付金 2,852 千円などとしています。また、鳥取県で行われる「第13回国際マンガサミット」の開催に併せた事業として、まんが活用推進事業 2,000 千円、やなせたかしの世界展 2,100 千円を行います。

農林業では、良食味米として知られる三朝米の実力を広く情報発信するため、ブランド化支援事業 1,231 千円、おいしい三朝米生産農家育成事業補助金 3,200 千円、みささの味わい発信事業 635 千円などにより、生産から販売へと繋がる「儲

かる農業の仕組みづくり」を行い、販路の拡大や付加価値の高いみささ米のブランド化を目指します。本町の特産品である梨の生産振興では、次世代鳥取梨ブランド化創出事業補助金 1,480 千円、果樹共済掛金助成補助金 258 千円などにより栽培農家の負担軽減を図ります。また、イノシシやカラスなどの被害対策として鳥獣被害対策事業 27,909 千円、森林環境の保全のためのナラ枯れ被害対策に 4,000 千円、緑の産業再生プロジェクト 91,820 千円では、間伐や森林の境界明確化を行い、森林資源を活用した林業・木材産業の再生を行います。

雇用対策では、県が造成した基金の活用で行う緊急雇用創出事業に 10 事業 18,107 千円、若年層の雇用の拡大と地元への定住を図るため、三朝町新卒者雇用奨励事業 1,680 千円としています。

2. すむ・皆が“安全で安心して暮らす”町

子育てや福祉、教育の充実を図り、安心安全な暮らしを守ります

中学生による手作り訪仏事業 2,374 千円、中学校での英語教育充実のための外国人指導助手の配置に 5,452 千円、小学校における複式学級解消のために 10,000 千円、小学校へ特別支援員の配置に 6,011 千円、小中学校の運営費として 35,638 千円、児童生徒への遠距離通学費補助など小中学校教育振興費として 14,117 千円などとしています。

また、「みささこども園（仮称）」の整備事業 571,600 千円、放課後児童対策費（東小・西小・南小）15,216 千円、病後児保育事業 170 千円、地域子育て支援センター事業 2,299 千円、乳幼児及び中学3年生へのインフルエンザ[※]接種助成 480 千円、児童手当給付費 91,985 千円、子ども手当給付費 18,116 千円、子宮頸がん等ワクチン接種助成 4,652 千円、不妊治療費助成 400 千円、ファミリーサポートセンター事業 2,047 千円などにより子育てしやすい環境づくりを行います。

障がい者の方が自立した生活を支援する事業費として 188,073 千円、老人福祉対策費 19,287 千円、身体障がい者の方や小中学生、特定疾病の方などの医療費を助成する特別医療給付費 45,690 千円、「100歳元気なまちづくり」のための施策として、高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成 910 千円、がんの早期発見及び治療を目的に、子宮頸がん・乳がん・大腸がんについて、特定年齢の方を検診無料とするがん検診事業に 1,865 千円、胃がん検診の受診率を上げるため、特定年齢（60歳）の方の自己負担金を無料とするなどの特定健診推進事業費として 10,915 千円などにより町民の健康づくりを推進します。

道路新設改良事業費 7,644 千円、道路・橋梁整備事業費 9,300 千円、歩道橋整備事業 35,150 千円、除雪対策費 9,268 千円、交通安全施設整備費 1,035 千円などにより、町民の安全・安心を図っていきます。

3. かかわる・・皆が“主役で地域を大切に”町

次世代につながる人材育成、地域づくりを推進します

ラマルー・レ・バン町へ、中学生による手作りの訪仏事業 2,374 千円（再掲）
台中市との友好交流団受入事業 503 千円などにより、両町のさらなる友好交流を図ることとしています。

町内 6 つの地域協議会へ地域活動支援交付金 9,000 千円、公民館などの活動拠点施設管理費 5,455 千円、三朝町キラリと光る町づくり支援交付金 2,000 千円、空き屋バンク事業 1,030 千円などにより、地域づくり・活動を支援します。

生涯学習の拠点施設の図書館経費 15,481 千円、祝日を開館日とする図書館の開館日拡大事業 2,051 千円、学校支援推進事業 901 千円、人権教育推進員 1,152 千円、人権・同和対策事業 851 千円、男女共同参画事業 145 千円などにより、ひとりひとりを大事にし、一生涯継続して学習することの出来る環境づくりを行います。

また、スポーツ活動の推進として、選手強化や育成を推進するため体育協会への委託金として 2,000 千円、三朝町スポーツ少年団の育成として 620 千円、京都府城陽市とのスポーツ交流事業 482 千円などを計上しています。

4. つながる・・皆が“連携による効率的な”町

情報化を積極的に推進し、中部圏域の市町と連携を図ります

中部ふるさと広域連合負担金として 268,376 千円、後期高齢者医療負担金として 102,566 千円、定住自立圏事業として休日保育事業 63 千円、認知症にかかる支援体制整備事業として 20 千円など、中部圏域の市町と連携を持ちながら事業をすすめます。

ふるさと納税を促進し（ふるさと応援寄附金特別経費 2,459 千円）情報化の推進を図るためケーブルテレビの配信を安定的に行う施設の更新業務を順次行う計画を含めた e-misasa エリアネットワーク事業 21,914 千円、鳥取情報ハイウェイ管理費 452 千円、行政ネットワーク管理費 6,505 千円などを行うこととしています。